

MacBook Air 13インチ Retina Display 2019 ロ ジックボードの交換

MacBook Air 13インチ Retina Display...

作成者: Adam O'Camb



はじめに

MacBook Air 13インチ Retina Display 2019のロジックボードを交換するためのガイドです。

Touch IDセンサーを交換後、Touch IDは機能しなくなります。ご注意ください。 MacBookのオリ ジナルTouch IDセンサーは工場生産時にロジックボードのT2チップとペアで製造されています。 Appleの独占キャリブレーション手続きを経なければ回復できません。他モデルのMacBook Airから 取り出した正規品Touch IDを移植しても同様です。

Touch IDセンサーを交換するには、Touch ID機能を保持するために、ペアで製造されたロジック ボードをインストールする必要があります。

/ ツール:

T3 Torx Screwdriver (1) T4 Torx Screwdriver (1) Tweezers (1) Spudger (1) P5 Pentalobe Screwdriver Retina MacBook Pro and Air (1)



MacBook Air 13" (Late 2018-Mid 2019) 1.6 GHz Logic Board with Paired Touch ID Sensor (1)

手順1-下部ケースを固定しているネジを外します



この手順を始める前に、Macのオートブート機能を解除する必要があります。自動起動中、蓋を開けるとMacの電源をオンにし、分解中に誤ってトリガーされる可能性があります。こちらのガイドを参照して自動起動を無効にします。

 MacBookにBig Sur v11.1以降がイン ストールされている場合、自動起動 を無効にするとうまくいかないこと があります。通常通りに作業を進め

ることができますが、開口できたら すぐにバッテリーを外してくださ い。

- P5ドライバーを使って、次のネジを 外します。
 - 7.9mmネジー2本
 - 7.1mmネジー2本
 - 2.6mmネジー6本

手順2-下部ケースを取り出します。



- 指先をディスプレイと下部ケースの 間に挟んで、Airから下部ケースを上 向きに引き上げます。
- 下部ケースを取り出します。
- ▼ 再組み立て後、電源に接続するまで MacBookの電源が入らない場合があ ります。修理を試すには、充電器を 接続し、MacBookの電源が入るまで 2分ほど待ち、すべてが期待通りに 動作することを確認してください。



 バッテリーコネクタを覆っている テープを剥がして、下のコネクタを 露出させます。

手順 4



 ● スパッジャーを使って、バッテリーコネクタの下に差し込み、ロジックボードと並行にスラ イドして、ロジックボード上のソケットからコネクタを外します。

手順5-ロジックボードの接続を外します



- T3トルクスドライバーを使って、トラックパッドコネクタのブラケットを固定している 1.4mmネジを2本外します。
- トラックパッドコネクタのブラケットを取り出します。

手順 6



● スパッジャーの平面側先端を使って、トラックパッドのケーブルコネクタをこじ開けてソケットから取り出します。



- 左側スピーカーの接続が外れている場合は、この手順をスキップしてください。
- スパッジャーの先端を左側スピーカーケーブルの下にスライドしてまっすぐ持ち上げ、ス ピーカーの接続を外します。
- コネクタの接続が外れたら、スパッジャーの平面側先端をケーブルの下にスライドして、
 ケーブルとロジックボードを固定している接着剤を剥がします。



- T3トルクスドライバーを使って、USB-Cポートコネクタブラケットを固定している1.3mmネ ジを2本外します。
- USB-Cコネクタのブラケットを取り出します。



● スパッジャーの平面側先端を使って、USB-Cケーブルのコネクタを持ち上げて、ロジック ボード上のソケットから接続を外します。



- スパッジャーを使って、サウンドボードケーブルの<u>ZIFコネクタ</u>上の小さなロッキングフラップを持ち上げます。
- ZIFコネクタからサウンドボードケーブルをスライドして外します。



 ファンケーブルのコネクタを覆って いる黒いテープを剥がします。



- スパッジャーの先端を使って、ファンケーブルのZIFコネクタ上にあるロッキングフラップを 持ち上げます。
- ZIFコネクタからファンケーブルをスライドして外します。



- T3トルクスドライバを使って、アンテナケーブルブラケットを固定している1.4mmネジを2本 外します。
- アンテナケーブルブラケットを取り出します。



- スパッジャーの先端を、コネクタに近いアンテナケーブルの一つの下に差し込みんで外しま す。
- もう片側のアンテナケーブルにも同じ作業を繰り返します。



- T3トルクスドライバを使って、ディスプレイケーブルコネクタのブラケットを固定している 1.5mmネジを2本外します。
- ディスプレイケーブルのコネクタブラケットを取り出します。

手順 16



● スパッジャーの平面側先端を使って、ディスプレイケーブルのコネクタをこじ開けます。

手順 17 — ロジックボードのネジを外します。



- T4トルクスドライバーで次のネジを 外します。
 - 5.5mmネジー1本
 - 2.6mmネジー3本
 - 1.9mmネジー2本

手順 18 — ロジックボードを取り出します。



● ロジックボードを取り出します。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りの コンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、認可済みリサイクルセンターR2を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか?このモデルのトラブルシューティングは、<u>アンサーコミュニティ</u>を参照してください。